

大学入試センター試験科目の成績利用方法（過年度の成績は利用できません）

「平成30年度大学入試センター試験」(以下、センター試験)で受験した科目の成績を、センター試験方式、センター試験併用方式、後期分割方式<センター試験併用3教科型>、「センター試験+面接」グローバルコース方式、「経営学部で学ぶ感性+センター試験」方式で合否判定に使用します。本学の入学試験で使用できない科目や、必要以上の科目数を受験しても構いませんが、出願する学部・学科等の入試方式において定められたセンター試験の科目を、必要数受験してください。科目が不足する場合は、不合格となります。また、使用する科目を出願時に届け出る必要はありません。「高得点科目採用」は、学部・学科等の入試方式において定められたセンター試験科目を受験していれば、高得点の科目から自動的に採用されます。

志望する学部・学科等の入試方式で定められた科目の配点と、センター試験での配点が異なる場合は、得点換算を実施します。

なお、理工学部、情報理工学部、生命科学部、薬学部のセンター試験方式、情報理工学部のセンター試験併用方式(情報理工学部型)において、高等学校等での履修に関する出願条件がありますので、43ページで確認してください。

■外国語

センター試験の「英語」は、筆記試験(200点)とリスニング(50点)が出題されます。本学の入学試験では、下記(1)(2)のうち高得点となる方を自動的に採用します(事前の申請は不要です)。ただし、「センター試験+面接」グローバルコース方式はリスニングの受験が必須で(1)を採用します。

(1) 筆記とリスニングをあわせて250点満点を200点満点に換算。

(2) 筆記のみ200点満点(リスニングを受験しなかった場合を含む)。

また、「ドイツ語」「フランス語」「中国語」も情報理工学部と薬学部を除くすべての学部で使用できます。「韓国語」は国際関係学部、文学部、映像学部、政策科学部、総合心理学部、食マネジメント学部で使用できます。

■国語

センター試験の「国語」は、近代以降の文章(2問100点)、古典[古文(1問50点)、漢文(1問50点)]で構成されています。本学の入学試験で使用する範囲は、以下の3通りがあります。使用範囲や使用方法は、各学部・学科等の入試方式ごとに定められていますので、10~39ページで確認してください。

(1) 近代以降の文章のみ

(2) 古文、漢文のみ

(3) 近代以降の文章、古文、漢文

■数学

センター試験の「数学」は、数学①と数学②の2つの試験時間帯に分けて実施されます。本学の入学試験では、数学①は「数学I・数学A」、数学②は「数学II・数学B」(映像学部は「情報関係基礎」、経営学部は「簿記・会計」を含む)の得点を使用します。使用できる科目および使用方法は、各学部・学科等の入試方式ごとに定められていますので、10~39ページで確認してください。主な使用方法は以下の通りです。

(1) 「数学I・数学A」および「数学II・数学B」…2科目の合計点を使用します。2科目とも受験している必要があります。

(2) 「数学I・数学A」「数学II・数学B」から高得点1科目…高得点の1科目のみ採用候補とします。そのうえで学部・学科等の入試方式において定められた科目数だけ、他の教科の採用候補も含めた高得点科目から自動的に採用します。

(3) 「数学I・数学A」「数学II・数学B」…いずれの科目も採用候補とします。そのうえで学部・学科等の入試方式において定められた科目数だけ、他の教科の採用候補も含めた高得点科目から自動的に採用します。

■地理歴史・公民

センター試験の「地理歴史・公民」は、1科目または2科目を選択して受験できます。使用できる科目および使用方法については、各学部・学科等の入試方式ごとに定められていますので、10~39ページで確認してください。

■理科

センター試験の「理科」は、以下の通り理科①と理科②の2つの試験時間帯に分けて実施されます。

理科①：「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」

理科②：「物理」「化学」「生物」「地学」

理科①および理科②については、以下の選択方法をセンター試験出願時に申し出ることになっています。

A：理科①から2科目

B：理科②から1科目

C：理科①から2科目および理科②から1科目

D：理科②から2科目

本学の入学試験では、理科①の『「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目』を1科目と見なし、法学部、産業社会学部、国際関係学部、文学部、映像学部、経営学部、政策科学部、総合心理学部、経済学部、スポーツ健康科学部、食マネジメント学部で使用できます。理科②は、使用できる科目が学部・学科等によって異なります。使用できる科目および使用方法は、各学部・学科等の入試方式ごとに定められていますので、10~39ページで確認してください。

英語外部資格試験スコア等保持者への「外国語」の特例措置

以下のいずれかのスコア等を証明する書類を出願時に提出した場合は、大学入試センター試験における「外国語」の「英語」を満点に換算し、合否判定を行います(ただし、法学部は除く)。

*大学入試センター試験「外国語」の「英語」の受験は必要です。

① 実用英語技能検定 : 準1級以上(受験時期は問わない)

② TOEFL iBT®テスト : 72点以上(2016年4月1日以降に受験したもの)

③ IELTS(Academic Module) : Overall Band Score 5.5以上(2016年4月1日以降に受験したもの)

④ GTEC CBT : 1250点以上(2016年4月1日以降に受験したもの)

⑤ TEAP(4技能) : 334点以上(2016年4月1日以降に受験したもの)

出願書類については45ページで確認してください。

【出願方法】(詳細は46ページを参照)

インターネット出願画面の「英語外部資格試験スコア等保持者への『外国語』の特例措置」の項目で必要事項を入力してください。

そして、英語外部資格試験の合格証明書・スコア等(コピー)を郵送してください。インターネット出願画面にて、当該出願書類の活用希望のための項目を選択すれば、英語外部資格試験の合格証明書やスコア等は初回出願時のみの提出で構いません(活用を希望する旨の入力がない場合は、書類送付が必要です)。

インターネット出願での上記の入力を完了しても合格証明書・スコア等(コピー)の送付がない場合は、特例措置の対象となりません。